

平成 31 年度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

学校法人 グラムール学院

グラムール美容専門学校

I 法人の概要

1. 建学の精神

グラムール美容専門学校は、美容を通じて社会に貢献できる人材を育成し、美容業界とあなたの未来を創る学校です。

学校での2年間を通じ、社会人、美容師として必要な3つの柱である「技術力・人間力・創造力」を養うことを目的としています。

社会で必要とされる人材となる事は、自らの仕事に意義を感じ、やりがいを持つ事でもあります。

学生たちには、夢と目標を持ち、ここが美容師人生のスタートと考え、苦難を乗り越える勇気をもって、業界をリードし、美容を通じ人々の幸せに貢献できる人材となる事を期待しています。

2. 学校法人の沿革

昭和30年	大阪市浪速区難波中3-2-9に、関西美容理容専門学校設立
昭和61年	フランス国立職業学校エリゼ・ルモニエ校（パリ）と姉妹校提携を結ぶ
平成9年	日本エステティシャン協会認定校となる
平成11年	日本ネイリスト協会認定校となる
平成12年	校名をグラムール関西美容理容専門学校に変更
平成16年	法人名を学校法人グラムール学院、校名をグラムール美容専門学校に変更
平成17年	新校舎「アネックス」竣工。創立50周年を迎える
平成22年	台湾・明台高級中学と交流開始
平成27年	創立60周年を迎える
平成29年	第34回美容師国家試験合格率100%達成
	第44回技能五輪国際大会（アラブ首長国連邦・アブダビ）で8位入賞
平成30年	第56回技能五輪全国大会（美容）で優勝。第45回技能五輪国際大会に出場決定
	平成30年度就職率9年連続100%達成
令和元年	第45回技能五輪世界大会（ロシア連邦・カザン）で16位入賞

3. 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
グラムール美容専門学校	平成 16 年 4 月	美容科	昼間部 2 年制

4. 役員の概要

(令和 2 年 5 月 1 日現在) 定員数 理事 5 名、監事 2 名

区分	氏名	選任区分	摘要
理事長	菊池 笑子	第 1 号	
副理事	菊池 潤一	第 2 号	
理事	岡田 節子	第 2 号	
理事	杉本 晶子	第 3 号	
理事	杉山 洋一	第 3 号	
監事	比嘉 邦子		
監事	小田 勝		

5. 評議員の概要

評議員の定数は 11 名であり、実数は 11 名である。

6. 教職員の概要

(令和 2 年 5 月 1 日現在) (単位：名)

学校名	教員		職員
	専任	兼任	
グラムール美容専門学校	25	30	6

II 事業の概要

1. 事業の概要

平成 31 年度は、全国トップクラスの教育内容を維持することを目標とした、中期経営計画の 4 期目として、その達成に尽力しました。また当法人の教育方針を継続し、国家試験合格率 97.9%、就職率 100%を達成、全国技能五輪全国大会の美容職種部門においては 2 年連続金賞を受賞するなどの成績を上げることができました。

2. グラムール美容専門学校の主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 教育

美容師とはパーマネントウェーブや結髪や化粧等の技術によって、お客様の容姿を整え、美しくすることを職業とする人のことです。また、接客業の中でもお客様の肌に直接触れる仕事です。細心の注意と知識と技術が要求されます。

同時に美容師は、公衆衛生を維持し、美容文化を支え、生活を快適にするという社会的な役割も担っています。そのため、厚生労働省の指定した教科課程の履修を経て、美容師国家試験に合格しなければ免許を取得することができないというハードルが設けられています。

当校では、まず美容師になるために必要条件である美容師国家試験に全員が合格することを目指しています。授業においては、全ての学生ができるようになり落ちこぼれる事のないよう対応します。定期的に検定試験や校内コンテストを実施し、全ての学生の技術習得状況を確認します。

技術レベルに不足する部分があれば即座に教員が対応して、サポートにあたるようにします。たとえ技術レベルが合格水準にあったとしても、就職後に要求される実践的な水準まで技能を高めるべく、自主的に練習する習慣をつけることも重視しています。

朝は 8 時 15 分～、放課後は 19 時まで教室を開放して、レッスンができる環境づくりをしております。日々の努力を積み重ねていくことで、技術を自分のものにしていくことができます。各教室では、一人一人のレッスン時間をグラフにしています。

全ての学生を一定以上の水準まで教育することで落ちこぼれを作らず、また意欲のある学生にはさらに高いレベルの環境を提供することで、全体の底上げ、学生間の競争意識・仲間意識の醸成を図っています。

結果として、毎年美容師国家試験においては常に全国トップクラスの合格率を維持しています。令和 2 年 4 月 1 回美容師国家試験においては受験者 283 名に対して合格者 277 名、合格率 97.9%を達成しました。これは全国美容学校の中で第 2 位の合格率となります(200 人以上受験校)。また大阪府にある美容学校の中では 6 年連続第 1 位の合格率となっています(100 人以上受験校)。

(2) コンテスト大会

全国の美容学校が出場する第 11 回全国理美容学生技術大会において、カット部門銅賞・ネイル部門優秀賞を獲得し、なんと 11 年連続全ての大会で入賞し、その数は通算 55 賞となり全国トップの入賞数を誇ります。

また 23 歳以下の美容師・美容学生が競い合う第 57 回全国技能五輪全国大会の美容職種部門において、金賞 1 名、銀賞 1 名、敢闘賞 4 名を受賞し、出場選手 6 名全員が入賞する快挙を成し遂げました。

なお、昨年度の第 56 回全国技能五輪全国大会、美容部門金賞受賞の三澤陽さんは、2019 年 8 月 22 日～27 日にロシア連邦カザンで開催された【第 45 回技能五輪世界大会】に日本代表として美容/理容部門に挑戦し、4 日間、7 課題、例えば、現地の男女の人間モデルをその場で指定されたスタイルに仕上げる、難しい課題に果敢に挑戦し、見事敢闘賞 16 位を獲得しました。同大会は、2 大会連続で本校からの出場選手が入賞するという快挙を成し遂げました。

世界大会や様々なコンテストなどを通じて磨き上げたグラムールの技術力は美容業界でも高い評価を得ております。就職後に即戦力レベルに達しており、早い段階からお店の売上に貢献できており、多くのお客様から信頼を得ています。このことはお店の発展に寄与するだけでなく、本人が自己実現を果たし、美容師としてのやりがいを得ることにもつながります。当校が 10 年連続で就職率 100%（就職希望者）を達成できたのも、就職先からの高い評価によるものと考えています。

今後も積極的にコンテストの挑戦し、最新の技術を教育に生かす取り組みは、学生たちの将来にとっても大切な要素であると考えます。

（3）就職

令和 2 年 3 月卒業者の就職状況は、卒業生 284 名に対して美容分野就職希望者 269 名で、その全員が美容業界に内定しました。

ただし、2020 年 3 月頃から、新型コロナウイルスの影響が出始めており、就職活動への影響が懸念されます。4 月以降、内定の取り消し、美容室の廃業や倒産の影響による解雇が出る可能性があり、卒業生へ就職情報の提供などを準備し対処していく必要があります。

2 年生の就職活動は、春から初夏にかけて例年のように進まないと考えられるため、オンライン就職説明会や面接などへの対応を進めていく予定です。分散登校時における個別就職相談など進めていく必要があります。

（就職指導の原則）

- 1) 本人の希望を最優先し学校からの強制は一切行わないこと
- 2) 卒業生の情報を積極的にアナウンスして進路アドバイスすること
- 3) 求人票に関しては社会保険加入状況をわかりやすく区別して表記し、社会保険未加入サ

ロンは学校として推奨しないこと

4) 労働条件など記載がわかりにくい場合は学校から確認し本人に不利益がないようにすること

(4) 組織体制

今後、経営を取り巻く厳しい環境に対応していくため、教育と経営の両面においてバランスの取れた人材を適材適所に配置していくことが急務であり、法人全体で組織力を強化していく必要があります。また予算制度を厳格に管理することで、経営効率化による財務基盤の強化を図ることとします。

(5) グラムールブランドの強化

教職員がグラムールの魅力を正しく理解し伝えることで、在校生、高校生をはじめとするステークスホルダーにグラムールブランドを認識させ、強化してまいります。またそのための広報体制の強化を図ることとします。

3. 施設等の状況

(1) 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は以下のとおりです。

所在地	施設等	面積等	帳簿価額	摘要
大阪市浪速区	校地	558.21 m ²	1,644,303 千円	現在使用していない
	第1校舎	2,490.81 m ²	81,725 千円	
	校地	959.25 m ²	1,200,000 千円	校舎として利用している
	第2校舎	5,894.54 m ²	325,385 千円	
	校地	393.20 m ²	245,436 千円	校舎として利用している
	アネックス	1,913.11 m ²	366,284 千円	

4. その他

新型コロナウイルスへの対策

2020年3月以降影響が懸念されています。感染予防策への準備、分散登校、オンライン授業への対応として学生専用ウェブサイトの開設により動画コンテンツの準備などを実施する予定です。また、オープンキャンパスにおいてもオンライン相談の実施、WEBサイトSNSの充実などを図り、高校生への広報活動を強化していく予定です。